

## 5月1日～6月30日は夏服への移行期間です。

6月1日の衣替えを挟む2か月間を経て、7月1日には“完全夏服”にチェンジします。快適な学校生活ができるよう、上手に調整してください。(下記は略装についての記述です。)

- (1) 校服の上着・ジャケットを着用しなくてもよい。
- (2) 2・3年生は白ポロシャツ、1年生は紺ポロシャツでもよい。(裾を外に出してもよい。) ※ただし、ポロシャツに校服の上着やジャケットを着用することは不可。
- (3) 2・3年生の女子はブラウスや開襟シャツの上にベストを着用しなければならない。
- (4) 1年生はワイシャツだけでよく、ネクタイやベストを着用しなくてもよい。
- (5) 靴下はどんなに短くてもくるぶしが隠れる丈「ショートソックス」でなければならない。 ※これは制服の品位を保つための最低限度のルールである。「フットカバー」は不可。

## 交通事故 GW明けに多く発生する傾向あり

新生活に慣れてきたことによる油断が原因ではないかと言われています。守ってほしい規則はたくさんありますが、その中から一つだけ挙げるならば・・・『一時停止』ではきちんと止まって安全を確認すること！そこが危険地点だから、『一時停止』の標識が設置されているのです。

### 交通事故は誰も幸せにしません。

自転車が一時停止を怠り事故に遭うことはもちろん不幸なことです。しかし、一方で、そんな基本的な規則違反をした自転車を轢いてしまう車の運転手もたいへん不幸です。双方に、大切な家族がいて、大切な人生があるのです。自分自身を大切にすることは、同時に他者を思いやることにつながるということに早く気づいてください。

### ヘルメット着用 順調に増加中。まだの人はこのGWに準備しましょう。

一日でも早く着用することを勧めます。事故に遭ってから悔やんでも遅いのです。ただし、ヘルメットは万が一のときの自衛手段ですので、例えば、ヘルメットを着用しても右側走行をしているようでは無意味です。自転車乗車中の死亡事故は決して少なくありません。事故発生から24時間以内に亡くなった場合のみが交通事故死として扱われるので、ただ単に目立たないだけです。また、こんなところでなぜ？と思われるような意外な箇所でも発生していることも特徴ですので、常に気を抜かず、耳を塞がず、しっかりと目を見開いて走行してください。



### 朝の送り 逆走禁止！

高東と地域住民とが共存共栄できるよう考え出したルールです。必ず守ってください。また、正門付近では自転車(高東生・健大高崎生・高南中生ら)と重なる場面があります。互いに十分に安全を確認してください。特別な事情がない限り、あらかじめ準備しておいて、停車後は速やかに車から(左側から)降りることに努めてください。すべての人が気持ちよく朝を迎えられるように心がけましょう。

## 県高校総体の競技会場での盗難や紛失に注意！

5/13～15 に県高校総体が開催されます。競技種目によっては既に始まっているものもあります。当日は競技に集中するためにも、荷物番をつけるなど、引率の先生の指示の下、貴重品の管理をしっかりしましょう。バッグは口を閉じ、中が見えないようにするだけでもずいぶん安全性が高まります。また、スマホなどの落とし物にも十分に気をつけましょう。

慣れないところに行くので、交通事故にも注意！ 手洗い、消毒、“黙食”の励行もお願いします。

## いじめ防止強化期間

この時期、1年生はもちろんのこと、2・3年生も新年度に環境が変わったことから気持ちの落ち着かない日々が続いていることでしょう。多かれ少なかれ皆同じ境遇にあると思います。

こういう時には、まず、自分自身のこと集中しましょう。他の人のことを気にして、悪口などを言っている場合ではありません。自分自身の立ち位置を確立させることが先決です。他人への干渉は厳に慎みましょう。人のことが気になるのはあなた自身が不安定である証拠。自分を人との比較によってしか捉えることができない器の小さな人なのです。自分の価値観に合わない人の存在を否定することで、自分の意のままになる世界を作ろうとするととても未成熟な人です。苦しくて自分の力でどうにもならないときには友人や先生やご両親に相談しましょう。

とにかく、人が嫌な気持ちになる言動をしてはいけません。現実の世界でもインターネットの世界でもそれは同じです。その言葉を発する前に、その行動を起こす前に、大きくゆっくりと深呼吸してみましょう。

あなたの言動を受け取った相手は、その表情や態度と心情とは決して一致しないということを理解しておきましょう。相手はきっとあなたよりも気持ちを抑えて我慢するはずで、それに気づかないあなたはとても幼稚かも知れません。一步一步、成長しましょう。

みなさん、何か困ったことがあったら決して抱え込まず、クラス担任や部顧問の先生、ご両親など近くの大人に話してください。



## 情報モラル講習会感想文 優秀作品を選びました！ 以下は抜粋です。

SNS は公共の場だと改めて感じました。SNS に名前や住所など個人情報を送ったり、偽サイトを利用したり、他人の悪口を書き込んだり、SNS に写真を投稿したり、他人の作った動画や曲を利用しないことも大切だと学びました。（1年生 M.Sさん）

小学生の頃までは許された言葉は、今言ったら社会に許されないかもしれないと思いました。自分が被害者だけでなく加害者にもなり得るということを忘れずに、たとえ相手が家族であろうと友達であろうと、誰であろうと、気分の良い発言や投稿を心がけます。（2年生 M.Sさん）

LINE やツイッターは表情が伝わらないことが多いので、人の悪口や誰かが傷つくような投稿をしてしまう人が多いのかも知れません。一度投稿した内容が一生消えることがないデジタルタトゥーがあることを頭に入れ、人を傷つけることや、自分がされて嫌なことは日常生活でもネット上でも絶対にしないことを約束し、これからも過ごしていきたいと思いました。（3年生 K.Hさん）